



# 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社  
コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 高  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 吉川 友貞

TEL 06-4391-0330

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,453	△25.5	414	△33.4	410	△35.6	271	△48.6
26年3月期第1四半期	1,952	38.3	622	151.3	638	157.9	529	219.0

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 238百万円 (△58.7%) 26年3月期第1四半期 577百万円 (202.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	21.22	20.75
26年3月期第1四半期	41.59	40.35

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	16,032	10,991	68.2
26年3月期	16,622	11,406	68.2

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 10,928百万円 26年3月期 11,342百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	△17.6	1,560	△39.8	1,560	△41.9	1,000	△42.7	76.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	13,388,500 株	26年3月期	13,388,500 株
27年3月期1Q	606,879 株	26年3月期	390,179 株
27年3月期1Q	12,813,821 株	26年3月期1Q	12,723,113 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、平成26年8月12日付にて、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（以下、当第1四半期）の売上高は、医薬品事業につきましては、海外向けが牽引したことにより対前年同期比で増加したものの、感染管理事業につきましては、前年同期における特需の発生及び当第1四半期の返品増加等から前年同期を下回り、対前年同期比498百万円減（25.5%減）の1,453百万円となりました。売上総利益は、減収の影響等により、対前年同期比198百万円減（15.0%減）の1,131百万円となりました。なお、感染管理事業における返品に関しましては前期末に計上した返品調整引当金の範囲内で対応しております。一方で、当第1四半期の販売費及び一般管理費につきましては、前年同期と比較して販売費は減少したものの感染管理事業における研究開発の強化等から、全体としては対前年同期比8百万円増（1.3%増）の716百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期の営業利益は対前年同期比207百万円減（33.4%減）の414百万円となり、経常利益は対前年同期比227百万円減（35.6%減）の410百万円、四半期純利益は対前年同期比257百万円減（48.6%減）の271百万円となりました。

セグメント別の業績につきましては以下の通りであります。

## (医薬品事業)

医薬品事業につきましては、国内向けの減少を海外向けの増加が上回ったことから、売上高は対前年同期比61百万円増（4.6%増）の1,415百万円となりました。

国内止瀉薬市場全体につきましては、消費税増税前の駆け込み需要の反動減により停滞し、当社の国内向けにつきましても、『セイロガン糖衣A』は前年同期を下回り、『正露丸』は対前年同期比で微増にとどまったことから、売上高は対前年同期比で微減となりました。

海外向けにつきましては、香港市場、中国市場及び台湾市場における販売が堅調に推移したことに加えて、円安効果もあり、売上高は前年同期を上回る結果となりました。

損益面につきましては、海外向け売上高増加により売上総利益が増加した一方で、販売費及び一般管理費は広告宣伝の強化やセグメント別の売上構成比の増加に基づく人件費配賦率の上昇等により、セグメント損益は対前年同期比52百万円減（6.9%減）の705百万円の利益となりました。

## (感染管理事業)

感染管理事業につきましては、当社から出荷ベースの総売上高は136百万円となったものの返品により、売上高は対前年同期比561百万円減（94.5%減）の32百万円となりました。

一般用製品につきましては、前期末における消費者庁関連報道の影響を受け、返品額が当第1四半期の出荷額を上回る結果となり、中国における鳥インフルエンザ報道を背景とした特需が発生した前年同期と比較して大幅減となりました。業務用製品につきましても、一般用製品より限定的ではあったものの消費者庁関連報道の影響を受け、対前年同期比で減少となりました。

損益面につきましては、販売費及び一般管理費が、研究開発を強化した一方でTVコマーシャル等の広告宣伝を前年同期は前倒しで実施したこと等により対前年同期比で減少したものの、減収により売上総利益が大幅に減少したことから、セグメント損益は対前年同期比172百万円減の14百万円の損失（前年同期は157百万円の利益）となりました。なお、返品に関しましては、前期末に計上した返品調整引当金の範囲内で対応しております。

## (その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は対前年同期比1百万円増（25.3%増）の5百万円となった一方、セグメント損益は対前年同期比1百万円減の6百万円の損失（前年同期は5百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における資産合計は16,032百万円（前連結会計年度比590百万円減）となりました。また、負債合計は5,040百万円（同175百万円減）、純資産合計は10,991百万円（同414百万円減）となりました。前連結会計年度からの主な変動要因は、現金及び預金の減少等による流動資産1,853百万円の減少、建設仮勘定の増加等による固定資産1,263百万円の増加、未払法人税等の支払等による流動負債189百万円の減少、また、自己株式取得等による純資産414百万円の減少等であります。なお、自己資本比率は前連結会計年度と同水準の68.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表致しました予想値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

なお、この変更による影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,543,337	6,602,433
受取手形及び売掛金	2,177,566	1,745,159
商品及び製品	855,281	1,143,245
仕掛品	613,910	533,549
原材料及び貯蔵品	236,414	244,965
その他	492,048	788,711
貸倒引当金	△17,500	△10,500
流動資産合計	12,901,059	11,047,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	948,313	980,728
機械装置及び運搬具(純額)	318,855	301,589
土地	1,323,068	1,323,068
その他(純額)	266,671	1,539,165
有形固定資産合計	2,856,909	4,144,551
無形固定資産	34,762	31,717
投資その他の資産	829,663	808,504
固定資産合計	3,721,334	4,984,774
資産合計	16,622,393	16,032,338
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	496,975	465,359
未払金	1,746,066	1,609,651
未払法人税等	907,231	89,802
返品調整引当金	346,000	224,000
賞与引当金	242,567	23,307
役員賞与引当金	121,588	—
その他	286,909	1,545,517
流動負債合計	4,147,337	3,957,639
固定負債		
長期末払金	562,700	562,700
退職給付に係る負債	478,568	491,211
その他	27,642	29,004
固定負債合計	1,068,910	1,082,915
負債合計	5,216,248	5,040,555
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	286,717	286,717
資本剰余金	197,946	197,946
利益剰余金	11,030,219	10,977,151
自己株式	△281,714	△610,062
株主資本合計	11,233,168	10,851,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,036	40,108
為替換算調整勘定	69,750	36,731
その他の包括利益累計額合計	109,787	76,840
新株予約権	63,189	63,189
純資産合計	11,406,145	10,991,782
負債純資産合計	16,622,393	16,032,338

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,952,002	1,453,838
売上原価	553,045	444,760
売上総利益	1,398,956	1,009,078
返品調整引当金戻入額	267,000	346,000
返品調整引当金繰入額	336,000	224,000
差引売上総利益	1,329,956	1,131,078
販売費及び一般管理費	707,845	716,787
営業利益	622,110	414,290
営業外収益		
受取利息	824	1,636
受取配当金	1,025	1,116
為替差益	10,496	—
受取賃貸料	1,667	1,879
貸倒引当金戻入額	1,035	5,710
その他	1,661	1,887
営業外収益合計	16,709	12,229
営業外費用		
為替差損	—	15,001
賃貸費用	157	157
その他	51	367
営業外費用合計	209	15,527
経常利益	638,611	410,993
税金等調整前四半期純利益	638,611	410,993
法人税、住民税及び事業税	50,337	28,753
法人税等調整額	59,157	110,349
法人税等合計	109,494	139,103
少数株主損益調整前四半期純利益	529,116	271,890
四半期純利益	529,116	271,890

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	529,116	271,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,182	71
為替換算調整勘定	44,689	△33,018
その他の包括利益合計	48,872	△32,947
四半期包括利益	577,989	238,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	577,989	238,942
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成26年5月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、自己株式が328,347千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が610,062千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,354,013	593,574	4,415	1,952,002	—	1,952,002
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,354,013	593,574	4,415	1,952,002	—	1,952,002
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	758,116	157,978	△5,244	910,849	△288,738	622,110

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,415,792	32,513	5,532	1,453,838	—	1,453,838
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,415,792	32,513	5,532	1,453,838	—	1,453,838
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	705,942	△14,611	△6,533	684,797	△270,507	414,290

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。